

事例
No.230

ボランティアグループアップル

《組織について》

音楽部：登録会員数 20人（実活動は約13人）平均年齢60代

傾聴部：登録会員数 35人（実活動は約20人）平均年齢50代

《組織の設立経緯》

音楽部：平成8年9月、音楽療法の理論に沿って、高齢者と触れ合うことで高齢者を元気にしたい思いから設立しました。

傾聴部：平成29年1月、音楽部の訪問の際、施設利用者の方がお話をしたいのかわかり、傾聴ボランティアを起ち上げました。

活 動 内 容

高齢者施設や病院に出向いて、2つの活動をしています。

- (1) 音楽療法の基本的な理論をプログラムに組み込んだレクリエーション活動です。情緒的な歌や懐メロのような歌、そしてリズム楽器体操などを取り入れて、施設利用者の皆さんとのふれあいを行っています。
- (2) 傾聴を基本にした「話し相手」の活動です。月1回、2～3人の会員で午後1時から約1時間の傾聴ボランティアで、利用者の方のお話に耳と心を傾けて寄り添います。その後は会員で反省会を行います。

工 夫 ・ 問 題 点

音楽部では、季節に応じた歌をみんなで歌ったり、その歌にまつわる事柄などのトークを通じて、参加した方に楽しんでもらえる工夫をしています。今後、訪問先でのふれあい活動をどのような形で行うかが課題です。

傾聴部では、会員に対して年間を通じて複数回の研修を行っています。また、新会員の募集も行い、新人研修を4月から8月にかけて行い、9月から施設での実習を経て傾聴ボランティアとして認定します。

活 動 予 定

コロナ禍をどう乗り越えていくか、模索中です。